

# 日本の文化施設に映画フィルムは何本あるのか

～平成26年度文化庁文化芸術振興費補助事業「記録映画のデジタル保存・活用調査研究」～



記録映画保存センターでは、平成26年12月～27年3月にかけて日本国内の文化施設に向けて映画フィルム所蔵調査を行いました。美術館・博物館・公文書館・視聴覚ライブラリー、計1398施設を対象に行ったアンケート調査では、回答いただいた849施設の内、フィルムを所有する施設が341施設あることがわかりました。報告いただいた映画フィルムの所蔵タイトル数の合計は、約16万作品に及びます。合わせて行った15施設での現地調査では、それらのフィルムの劣化や保存管理、活用方法について、多くの施設が頭を悩まされているという現状も把握しました。この調査をもとに、劣化の進行しているフィルムの安全な保存やデジタル化、利活用に結びつくよう、今後とも活動に努めてまいります。尚、平成27年度も引き続き調査を実施しています。

## 〈アンケート 17 項目の中から抜粋〉

調査対象とフィルム所有本数 (フィルム所蔵本数は概算です) 🎯 数多くのフィルムが所蔵されていることがわかりました。

	アンケート発送数	アンケート回答数	フィルム所有施設数	フィルム所蔵本数
美術館	267	163	34	1070本
博物館	865	515	175	32076本
公文書館他	97	62	27	6246本
視聴覚ライブラリー	169	109	105	120527本
合計	1398	849	341	159919本

いつ頃のフィルムか? (施設数)

🎯 戦前のフィルムも多くあることがわかりました。

所蔵フィルムの年代	全施設合計	美術館	博物館	公文書館他	視聴覚ライブラリー
1945年以前(戦前)	72	4	51	9	8
1946～1955年	68	1	33	12	22
1956～1970年	162	12	75	20	55
1971～1980年	167	14	69	9	75
1981～1999年	169	12	64	11	82
2000年以降	64	1	12	3	48
未確認	57	4	22	3	28

\* 視聴覚ライブラリーには、一部、図書館、生涯学習センター等も含まれます。

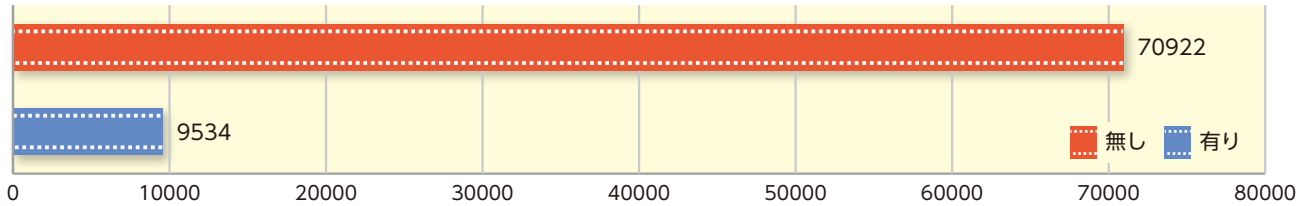
どんなジャンルのフィルムを所有しているか?

🎯 記録映画、教育教材映画を所有する施設が多いようです。

	作品本数	施設数	作品本数	施設数	作品本数	施設数	作品本数	施設数	作品本数	施設数
劇映画 (邦画)	1～100本	55	101～200本	11	201～500本	2	500本以上	1	未確認	22
劇映画 (洋画)	1～100本	24	101～200本	1	201～500本	2	500本以上	1	未確認	20
アニメ	1～100本	39	101～200本	25	201～500本	29	500本以上	1	未確認	21
記録映画	1～100本	143	101～200本	11	201～500本	7	500本以上	4	未確認	39
教育教材 (学校・家庭・社会)	1～100本	62	101～200本	8	201～500本	35	500本以上	37	未確認	36
ニュース映画	1～100本	36	101～200本	2	201～500本	6	500本以上	4	未確認	21
美術作品 (実験映画など)	1～100本	17	101～200本	2	201～500本	1	500本以上	0	未確認	15
民俗・無形民俗文化財の記録	1～100本	57	101～200本	3	201～500本	3	500本以上	0	未確認	26
アマチュア・市民の作品	1～100本	37	101～200本	3	201～500本	3	500本以上	1	未確認	18
その他	1～100本	19	101～200本	1	201～500本	4	500本以上	2	未確認	15

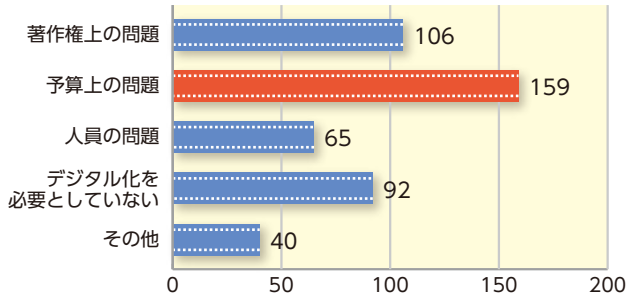
## デジタル化はどのくらいできているか？ (作品タイトル数)

多くのフィルムはデジタル化できていません。



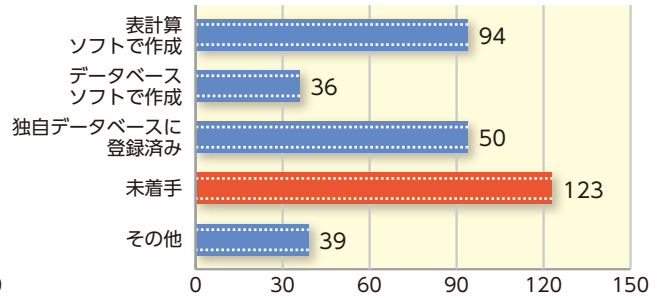
## デジタル化出来ない理由は？ (施設数)

予算の問題は大きいようです。



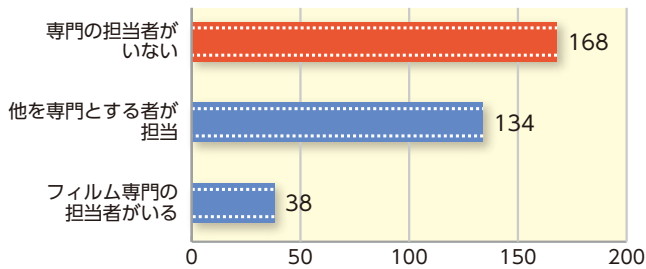
## 作品データベースを作成しているか？ (施設数)

データベース化できていない施設も多くあります。



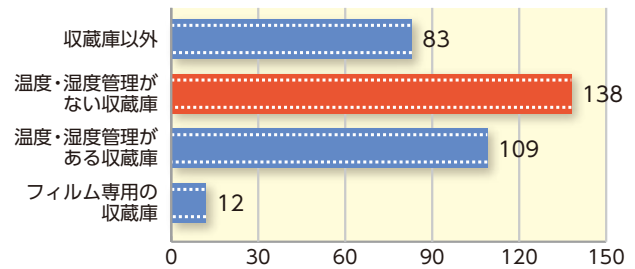
## 映画フィルムの専門家を配置しているか？ (施設数)

フィルムの専門家は少ないようです。



## 所蔵フィルムの保存環境は？ (施設数)

フィルムに適した環境での保存は難しいようです。



## ご担当者の声 (一部抜粋)

- ◆再生機械がなくなり、フィルム上映の機会も減り、映写できる人が急速に減少しています。(美術館)
- ◆地域に関係する資料だけでもデジタル化したい。著作権の壁はとても高く、フィルムは劣化が激しいです。(視聴覚ライブラリー)
- ◆全国のライブラリー等で、映写機の整備(機器、資材、部品切れ)で困っている状況だが、工夫してギア・ベルト等の調達の情報共有を図るべく、センター的役割を都内にある団体を中心に推進をすべきである。(視聴覚ライブラリー)
- ◆今後、新たにフィルムが発見されたとして、修復、保存等の御相談等を恒久的に貴団体に受けていただけるのか。映像フィルムの専門的知識のある職員がいないので、どこに相談すればよいかを広報してほしい。(公文書館)
- ◆市民からのフィルムの寄贈や保存の申し出に対応できる施設・機関があり、地方のフィルム保存が充実すると良いと思います。(博物館)
- ◆映写機を保有していない為、所蔵フィルムの中身を見たことがない(博物館)
- ◆調査により作成できた情報を、ネット上で広く公開してほしい。(博物館)
- ◆劣化の度合は確認できていない。フィルム検査機が故障してしまい、今後の管理に不安がある。(視聴覚ライブラリー)
- ◆フィルム上映する機会もあるのですが、映写機の部品入手やメンテナンスがここ数年でかなり困難になってきたように思えます。(博物館)
- ◆所蔵フィルムを上映できる映写機が製造中止になり、購入、修繕が困難になっています。当所所蔵フィルムも映写機の老朽化により、近い将来上映できなくなる恐れがあります。貴重なフィルムを一括管理し、活用できる仕組みが必要だと考えられます。(視聴覚ライブラリー)
- ◆デジタル化を進めていきたいが、予算面で厳しいところがある。補助金制度など良い方策があればご教示いただきたい。(博物館)
- ◆酢酸臭がするが、保存措置をどのようにしていけばよいのか。フィルムの専門家もいないので、ノウハウを知りたいです。(美術館)
- ◆デジタル化とともに長期的にはフィルム複製も必要と考えている。いずれにしても今後整理、保存、活用を進めていきたい。(博物館)
- ◆デジタル化の方法と汎用性が高いフォーマット、長期保存に適した記録媒体についてご教示いただきたい。(公文書館)
- ◆プリントは退色進行、ネガも限界に達していると思われるので、物理的には早急の対処が必要と思われます。(博物館)
- ◆フィルムの良好な状態での保存は今後の課題である。市民が撮影したフィルムも、活用できるものがあれば収集していきたい。(博物館)
- ◆市立図書館内の近代資料室では地域資料の収集が行われています。各自自治体のこうした取り組みにより、映像資料の散逸も防げるものと信じております。(博物館)
- ◆劣化が非常に懸念されるが、予算措置したくとも財政的に困難であること。また、著作権等の問題で手が出せないことなどから貴重な財産が失われつつある。一括で国等が収集し、デジタル化が保存できないか検討いただきたい。(視聴覚ライブラリー)